

# Star Fish Journal

## 2013年1月アーカイブ

### どんな風に切って

tsuji (2013年1月29日 14:46) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



誰が見ても分かりますよね。  
今年の干支です。



かみきり王子がお客様の  
リクエストに答え切りました。  
リクエストを受け付けると、  
髪を切ってくれたとか、  
俺の爪をきってくれなどが  
飛んでくるので、通常は  
あまりやらないそうです。  
(ニックネームは巷での通(常?)称)



おおじ、この世界では一番の若手で  
ホープ。世界で8人しかいない  
かみきり芸人で、日本では何分の  
何でしたか。



### カテゴリ

#### 月別 アーカイブ

[2013年1月 \(4\)](#)  
[2012年12月 \(5\)](#)  
[2012年11月 \(6\)](#)  
[2012年10月 \(4\)](#)  
[2012年9月 \(6\)](#)  
[2012年8月 \(5\)](#)  
[2012年7月 \(6\)](#)  
[2012年6月 \(7\)](#)  
[2012年5月 \(4\)](#)  
[2012年4月 \(6\)](#)  
[2012年3月 \(6\)](#)  
[2012年2月 \(6\)](#)  
[2012年1月 \(8\)](#)  
[2011年12月 \(9\)](#)  
[2011年11月 \(5\)](#)  
[2011年6月 \(3\)](#)  
[2011年5月 \(1\)](#)  
[2011年3月 \(1\)](#)  
[2011年2月 \(4\)](#)  
[2011年1月 \(7\)](#)  
[2010年12月 \(6\)](#)  
[2010年11月 \(4\)](#)

### ウェブページ

[このブログを購読](#)

POWERED BY  
  
 MOVABLE TYPE®

### 検索

#### このアーカイブについて

このページには、**2013年1月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

前のアーカイブは[2012年12月](#)です。

最近のコンテンツは[インデックスページ](#)で見られます。過去に書かれたものは[アーカイブのページ](#)で見られます。

かみきりをしています。昨日は40分で2枚、普通5枚ぐらい。この日は1時間ぐらいです。お客さんの目の前でハサミ1本だけで、あとトークで勝負です。話に気を取られすぎて、1回いらぬ所を切ると終わりです。



四次元ポケットから、多種多様なひみつ道具が出てくるように、多種多様に切れるのかどうか、蛇の様に単純なものほど難しいそうです。



切り絵は言われた瞬間に絵を考えますが、子供の頃、絵本を見る前に切り刻んでいました。絵を知ることが大事だそうです。



青空麒麟児さんが東部公民館で切った後に残った端は、また整え、お金が貯まるようにお守りとして、家に持ち帰れるようにです。つめを隠すだけでなく、脳ある妻は通帳を隠す(トーク)、ので、でもその方が、貯まるのでしたら、切り絵のお守りも奥さんにあげてください。



## ネクロポリス

tsuji (2013年1月14日 16:28) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

王家の谷の存在は昔から知られていましたが、

そこに辿り着くまで困難でした。



ツタンカーメンの家族も眠るルクソールには、数々の王が眠り、9歳で王に即位し、19歳で亡くなった、少年王と聞かれる彼が現在有名な理由の一つと言われるのは、3千年以上経った現在の時間に、発掘された遺品やその姿を私たちの前にみせてくれるところではないかと思えます。



王に即位する以前には、腹違いの姉と結婚していましたが、そのあとおそらくアンケセナーメンとの間に2人の娘がいたというのか、正確には2人共か1人は生まれる前になくなっていきます。こちらはチュウヤ(曾祖母)の人型棺ですが、子供のミイラも人の形をした木棺に収められていました。



ツタンカーメンがミイラにされる際にも、摘出された内部のものは、このカノボス容器に防腐処理をされ包帯を巻かれていました。容器が持つ容姿は彼と異なり頬はふっくらして鼻筋も整っていて彼が王になる前にエジプトを短期間統治していた、アンケペルウラーの名前が刻まれています。





今回ののはなしは**上野の森美術館**で開催され  
エジプトへの旅行は無料のキャンペーン  
で室じぐらいには当たりますが、という  
4月からの若い女性の外の方と話した、  
**ツタンカーメン展**  
**—黄金の秘密と少年王の真実—**  
です。 屋には昼のサービス天井でした。  
(パンが付くということではないです)



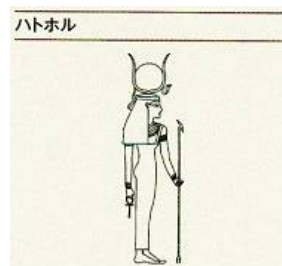
先ほどの姉かは分かりませんが、姉と父アクエアテン王、その妻(生みの母でない)ネファルティティがアテン神に礼拝する様子を表したレリーフです。



祖父の Amenhepeh III 世と祖母のティイです。



父が遷都したアマルナの新しい首都から、ツタンカーメンは都をメンフィス郊外へ移し、信仰も父のアテン(太陽)からアメン信仰に復帰させました。



経済の神として？は、牛はエジプト経済にとって重要であって、また若い

子牛は復活した太陽神と王も表しています。愛と豊穡の女神ハトホルは、通常牛の頭または牛の角をもつ牝牛または女性として描かれます。



その他の動物では、スカラベ甲虫は後ろ向きに後ろ足で押しています。カナディアン・ヘアレスには、日本で生まれてきてなれるでしょうか？(i,yがありますが日本のよみでは)



## 中世の写本のような

tsuji (2013年1月 8日 09:03) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



雨の土曜日、招待券で水が当たらない博物館の建物の中の方へ信号を横切り。ご飯を運ぶワゴン車は、ビジネスマンがごったがえす屋の平日ですが、この曜日でこの辺で見かけました。



こちらはタイの焼きビーフン(Phad Thai)を頂いていましたが、メニューの写真に見えたエビなどは、中にかなり沈んでいました。



レモンをかけ忘れ食べていましたが、マイルドな味になります。



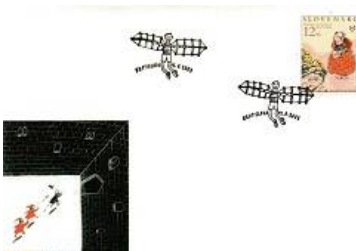
スロバキアの切手展がていば一く(逓信総合博物館)で開催されていました。



総合というのは切手を使う郵便と通話の両方を含むということなのでしょうか。電話ボックスには、確かこの前、オークションに上がり取り下げられたロシアのですが、この絵葉書が今回のコーナーにあった理由は分かりません。



絵本の国のフォークロア&クリスマスで、切手も絵本から現れたような、繊細な世界で、繊細ゆえよりも複製防止の為、撮影は禁止です。ネットのページでも紹介されていたのはごく一部ですので、このブログでも表示はあまりできないです。



購入できるものも、家の近くのポストにいれてもだめですし、ハガキを出す目的が主で、実際に人が飛んで切手の母国の干ポストに入れて来ると考えても、みんな既に判が押されています。この判は人が飛んでいます。



スロバキアまで、気流を捉えてもですが、鳥はそこまで飛ぶ力があるでしょうか。



### 墨と筆のすすめ

墨と筆でかかれたものには手がきのあたたかさがあります。筆の線はじんじりかすれたり、太くなったり細くなったりと、心の動きがそのまま紙に伝わります。思いきって使ってみましょう。



この後、教わりながら**絵手紙**を書くワークショップに参加させていただきました。手製の年賀状づくりが、目的でしたが、年賀状以外でも出てくるデザインと文字に私の場合はしました。

### 筆の持ち方・姿勢と線の練習

自分らしい字や絵をかくために必要なのは「集中力」です。鉛筆を持つような握れがあると集中力が出せないので、あえて不自由な筆の持ち方でうまくかこうという意識を除き、初心になってみましょう。



1. 筆のてっぺんを軽く持ちましょう。
2. のじをあげ、肩、腕、背の力をぬいで、リラックスしましょう。



半紙に線の練習。筆先を紙に食いこませるような気持ちでゆっくりと引きましょう。



小学生の時から習字の筆で字を書くのがヘタで(賞×)、和紙に線と渦巻きと名前の練習をしたぐらいで、特に2枚目のハガキには少しの時間で絵と文字を描きました。黒板(ホワイトボード)に貼り、講師の評価で、みんなのも見比べ・鑑賞でした。



外はまだ濡れていましたが、雨はあがり、絵手紙の創作作業に集中力を使って、時間で3階までは、少しだけ見れました。

## 年の瀬に咲く花

tsuji (2013年1月 2日 08:49) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



これは登っているのか、それとも  
新年には帰省して祝うので、  
下っているのでしょうか。



サンタさんは無事に本国へ、  
日本に来たお土産とアイテムを詰め込  
んで背負い帰り、来年のクリスマスの  
時期に必要な旅費を個人貿易で？稼ぐ、  
自立した？活動を続けていけるの  
でしょうか。(いないという意見は  
前提にしていまませんでした)



駅から、帰りはバスに乗車しましたが、  
海の方へ歩き、**稲毛海浜公園**まで来ました。  
夏でないのでここで泳ぐ姿は見られません  
でしたが、部活動で砂浜を走って  
いたり、終わって、帰り方や食事などに  
ついて声を出し歩いている高校生も。



時刻なので、こちらもここで昼ですが、  
**花の美術館**の建物を見ながら、スプーンも  
拝借してデミグラスソースのオムライス  
を久しぶりに食べました。





冬の花を思い浮かべて見ても、四季の中では一番少ない、特に温かい部屋の中やそうでも、日差しを浴びた縁側でもない。霜の中でも強いパンジーやビオラをもらい夏に枯れてしまったと以前、私は育てるのが下手と言った人がいましたが、普通は一年草なので、暖かい時期までは咲きます。



園芸店では、クリスマスまでにはポインセチア、元日までにはシクラメンを売ってしまう店も多く、今年は(私はそちらへ)行くのがギリギリすぎました。



ベンガルヤハズカズラやオオベニゴウカン、すれ違う人に名前を聞かれたクレロデンドルム・ウガンデンセ、グズマニア、名前が分からない花、なっていたバナナは食用でないということですがこちらのパイナップル? は食べられるか聞きそびれてしまいました。





参加型のイベントや胴を凹ました美術の展示と一部即売でクリムトの構図ではないですかと、その製作者とお話できました。



美術館の庭を回った後、猫を観察し、日本庭園を4階ぐらいの高さの展望台から眺めました。



実際に空を飛ぶクジラが、職員の手を離れて飛ぶ様子を、折り方のコピーもいただき、稲毛海岸飛行場物語のパネルや実物大の物を見て読みました。



富士山の方へ、大晦日の日の入りでないにしても、この日の最後に夕日の色で辺りは暗く覆われ、まだこの日はこの(前の)1年について考えてみることも、今想うと、浮かびませんでした。



[« 2012年12月](#) | [メインページ](#) | [アーカイブ](#)